

コンパンス 協力体制構築を計画 各地の容器再生業者と

ドラム缶や1トンコンテナの内装袋製造、容器販売のレスコン・ジャパン（本社＝横浜市鶴見区北郷秀天社）は各地の容器再生業者と協力体制を築く計画だ。東北・北陸から九州まで取引のある業者に内袋を容器にセットした上で売ってもらい、容器回収でも効果を期待する。このほか、ドラム缶再生の摂津容器（大阪府摂津市）と業務提携の契約を結んだ。別々に納入していた内袋とドラム缶をセットで供給し、需要家の業務効率向上に貢献する。

別々に納入されたドラム缶と内袋を化学会社など需要家の工場でセットする例が多いが、人手が必要で手間もかかる。再生業者と協力することで、両者の顧客にメリットがあるを見込む。レスコン

・ジャパンは各地で供給体制を築き、2012年中にスタートさせたい考え。互いに内袋と容器の両方を扱え、商流が広がる。

大分県田東市に新設した工場・営業所が9月中旬に稼働する見込み。近くにある現在の

工場に比べ、設備を自動化して運営に必要な人数を10人ほどに抑えた。生産能力の増強で13年9月には生産量を現在の約2倍、年間数十万袋に増やしたい考え。2工場を運営し主力の化学向けに加えて食品や電子材料分野の採用を狙う。今後は東南アジアでの現地生産も検討する。現在、年間約6億円の売上高は早期に10億円を目指す計画。

レスコン・ジャパンはポリエチレンやアル

ミ製の内袋、天板シートなどを製造。ポリエチレン内袋では有機溶剤耐性と静電気防止をもつ、従来にはない製品を製造する。原料を製造する日本ポリエチレン、フィルムに加工するメーカーと一体となるメーカーと二体となり、原料の設計から開発した。従来不可能だった2つの特性の両立はレスコン・ジャパンのもつ袋に成形する技術によりどこが大き

いといっ。